

パソコンから教室新聞

そろそろ古くなったパソコン、買い替えを考えていますか？購入時に何を参考に機種を決めればよいのでしょうか。性能に注目してみましよう。

どこに着目すれば…

① **パソコン**を新たに購入する、または買い換えるとき、どのようにして購入するパソコンを決めればよいのでしょうか。価格はもちろんのこと、メーカーや見た目も重要でしょう。**ノート型**にするか**デスクトップ型**にするか…、考慮する点は沢山あります。

パソコンは何か仕事をする機械です。文書を作成、写真を管理、映像DVDや音楽CDの再生、インターネットでのページ参照等等、機能は多岐にわたります。これらをスムーズに行えてこそ、快適に作業ができるというものです。

では、どこに着目すれば良いのでしょうか。

大きく分かれるのが**Mac**にするか、**Windows**にするか、です。OSが異なるため、使い勝手も若干異なります。
(スマホをアンドロイドにするかiPhoneにするか、と似た悩みです)

タイプが決まったら次は性能面です。

① CPU

パソコンは高性能な計算機です。計算をスムーズに行うためには、計算機の頭脳にあたる部分が、高性能かどうかが一番の問題になります。計算機の頭脳に当たる部分を「CPU」といいます。CPUには主に2つのメーカー（インテルとAMD）からグレード別（Core i7等）に多数出ています。グレードと合わせて周波数2.0KHzなどの表記もあります。これも数値が高いほど高性能になります。

当然、高性能になればなるほど、パソコンは「サクサク」動きますが、価格も上がります。パソコンで最も負荷がかかる作業の1つとしてビデオ編集とDVD作成があります。この性能が低いと、ビデオの書き出しやDVDの書き込みに、処理時間がかかります。また、激しい動きのあるゲームなども高性能のCPUだと動きがスムーズです。

② メモリ

次に注目したいのは「メモリ」です。4GB、16GBなどサイズがあります。メモリは作業場所の広さに例えられ、広いほど作業はスムーズです。大きいに越したことはありません。



③ ストレージ

その次は「ストレージ」です。データを保存する機器です。**HDD**（ハードディスクドライブ）や**SSD**（ソリッドステートドライブ）です。容量の単位は「バイト（B）」で表します。250GBや1TB（=1000GB）などです。従来型はHDDです。HDDに比べSSDは軽量で読み書きの速度も速くなっていますが、その分高価です。

他には、ディスプレイの大きさ、ノート型なら「13インチ」や「15インチ」、デスクトップ型なら20インチやそれ以上も選べます。また、DVDやBlu-rayディスクドライブの有無も確認しましょう。

パソコン性能は、大まかには以上の項目に着目すれば良いでしょう。後は予算とにらめっこです。

④ その他のこと

性能が決まれば、次はそのパソコンにどのようなソフトが備わっているかも重要な項目です。文書を作りたいなら**ワード**が、DVDを再生したいのなら、**プレイヤー**が必要です。各パソコンのパンフレットに詳細が記されていますので確認しましょう。

ワードやエクセルが備わっていないパソコンも販売されていますので、必要なら注意が必要です。（備わっているものより2〜3万円は安くなっています）



以上のように、パソコン選びは、車選びと同様、グレードとオプションの組み合わせです。グレードが上なほど、オプションを付けるほど高くなります。ただ、パソコンのグレードもオプションも一見して分かりにくいいため、どれを選んで同じに見えてしまします。（使えば実感できるので…）安くない買い物です。納得して購入したいものです。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからご覧いただけます。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next month